

# 第53回 甲南大学総合研究所公開講演会

## 『景観から考えるまちづくり』

— 日本の伝統と文化の継承 —

日本の各地域は、悠久の歴史を積み重ねつつ自然との共生の中で優れた伝統と文化を生み、育み、それぞれの特性を生かしたまちづくりを行ってきました。その基層には、自然に対する畏敬の念と自然の恩恵に対する感謝の精神(宗教観)がありました。

今、まちづくりを考えるに当たって何が欠けているか、何を考えるべきか、ということ京都の新景観政策を例示しながら、景観とまちづくりそしてその関係について考えてみます。

ふくしま さだみち  
講師 福島 貞道 氏

【財団法人 京都市景観・まちづくりセンター 専務理事(事務局長)】

### 講師紹介

1947年 4月 堺市生まれ。

1971年 4月 京都市に奉職。建築指導部長、都市景観部長、景観創生監を歴任。  
京都市においては住宅行政、営繕行政、建築行政、景観行政の各分野に携わる。

2008年 3月 京都市を退職。

2008年 6月 京都市景観・まちづくりセンター 専務理事(事務局長)に就任。

景観と自然の緑の保全を目指した斜面地条例、都市の安全と伝統木造建築物の継承を図る京都市独自の防火条例、京都の50年後、100年後を見据えた景観形成のための新景観政策など、歴史都市・京都の安全と伝統、文化の継承のための種々の制度、仕組みを創設する。

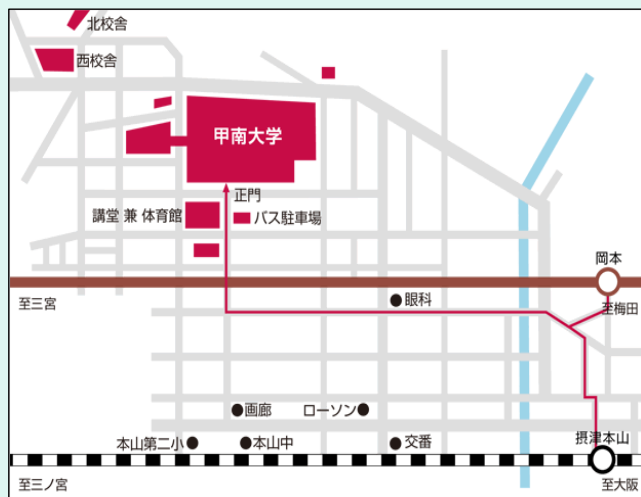


甲南大学総合研究所では、下記のとおり定例の公開講演会を開催致しますのでぜひご来場下さい。

❖ 日時 ❖ 平成23年11月19日(土)13:30~15:00

❖ 場所 ❖ 甲南大学1号館 3階 132講義室

先着200名様



### ★会場までの交通手段★

阪急神戸線岡本駅、またはJR神戸線摂津本山駅より北西徒歩10分。なお、駐車場設備はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

参加申込み不要・入場無料

甲南大学総合研究所

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1  
電話 (078)435-2331(ダイヤルイン)